

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

[製品の名称] 製品の名称 ヴォンフレックス S バイト

[会社情報] 会社名 ペントロンジャパン株式会社  
 住所 〒140-0014 東京都品川区大井 4-13-17-5F/6F  
 電話番号 03 - 5746 - 0316  
 FAX 番号 03 - 5746 - 0320

### 2. 危険有害性の要約

<b>健康有害性</b>	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2A
	発がん性	区分 1A
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)気道刺激性	区分 3
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)免疫系	区分 1
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)呼吸器	区分 1
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)腎臓	区分 1

絵表示又はシンボル



注意喚起語 危険  
 危険有害性情報 強い眼刺激  
 呼吸器への刺激のおそれ  
 発がんのおそれ  
 長期にわたる又は反復ばく露による免疫系、呼吸器、腎臓の障害

注意書き

**【安全対策】**

- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・適切な保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること
- ・適切な個人用保護具を使用すること。
- ・眼、皮膚、衣類につけないこと。
- ・容器を密閉しておくこと。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・環境への放出を避けること。

**【応急措置】**

- ・飲み込んだ場合、口をすすぐこと。
- ・皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
- ・気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。
- ・汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
- ・眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・眼に入った場合、眼の刺激が続く場合は医師の診断、手当てを受けること。

**【保管】**

施錠して保管すること。

本品は、室温で保管し、酸化剤、還元剤との接触及び直射日光を避けること。

**【廃棄】**

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

**【補足】**

皮膚や衣服との接触を避けること。取扱い後は徹底的に洗うこと。

**【他の分類されない危険性】**

長期にわたる、または反復接触は、皮膚の乾燥や刺激を引き起こす可能性があります。

## 3. 成分の組成情報

単一製品・混合物の区別： 混合物

成分及び含有量：

成分名	CAS No.	化審法 No.	安衛法 No.
ビニルジメチルポリシロキサン	-	7-483	-
メチルヒドロジェンポリシロキサン	63148-57-2	-	-
ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル	68412-54-4	-	-
二酸化ケイ素	15468-32-3	1-548	別表第9の312
炭酸カルシウム	471-34-1	1-122	-
白金錯体	16941-12-1	1-223	-

- ・化審法： 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）官報公示整理番号
- ・安衛法： 労働安全衛生法(安衛法) 名称等を通知すべき有害物（法第57条の2、施行令第18条の2）

## 4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分がすぐれない場合は医療機関を受診すること。 直ちに流水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用している場合は、直ちに外せる場合は外して洗浄を続けること。直ちに眼科医の診察を受けること。
眼に入った場合	容易に外せる場合は外して洗浄を続けること。直ちに眼科医の診察を受けること。
飲み込んだ場合	水で口の中をよく洗浄する。気分が悪い時は医師の診断を受けること。 無理に吐かせないこと。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

## 5. 火災時の措置

消火剤	周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。
特定の消火方法	速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	関係者以外の立ち入りを禁止する。新鮮な空気でのその場を換気する。 漏洩した場合は、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。適切な保護具を着用すること。
------------	--

環境に対する注意事項	河川、水路や下水に流れ込ませないように注意すること。
除去方法	漏洩した物質をできる限り多く回収すること。密閉できる空容器に回収すること。
追加情報	局所吸塵装置のあるところで行うこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い注意	目、皮膚、衣服に触れないようにすること。この材料を取り扱うときは、常に不浸透性の手袋を着用し、取扱い後は石鹸と水でよく洗うこと。この製品を使用する時には、飲食又は喫煙をしないこと。再利用する前に、汚染された衣類を脱いで洗ってください。
保管注意	室温で保管し、酸化剤、還元剤との接触及び直射日光を避けること。使用しないときはしっかり蓋を閉じること。開封した容器は、漏れを防ぐために注意深く再封し、直立させておく保管すること。歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	局所排気装置、手洗い・洗顔設備、安全シャワー、洗眼器等
許容濃度	日本産業衛生学会(2020年版) 吸入性結晶質シリカ:0.03 mg/m <sup>3</sup> ACGIH(2006年版) TLV:0.025 mg/m <sup>3</sup> (呼吸性画分);A2
保護具	呼吸用保護具 粉塵が発生する場合は、防塵マスクを着用する。 手の保護具 保護手袋 眼の保護具 保護眼鏡

9. 物理的及び化学的性質

外観	形状	ペースト
	臭い	無臭
物理的状態の変化に関する情報		
融点/融解範囲		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		データなし
自然発火温度		データなし
爆発範囲		データなし
密度		データなし
蒸気圧		データなし
粘度		データなし
pH 値		データなし
水への溶解性/混和性		冷水および温水に不溶
有機溶媒		データなし
水		データなし
固体の割合		データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	通常の保管および取り扱い条件下で安定。
危険な反応の可能性	有害な重合反応は起こらない。
避けるべき条件	熱と直射日光を避けること。
互換性のない材料	酸化性材料、還元性材料、および開始剤。
危険な分解生成物	通常保管されている場合はなし。

11. 有害性情報

急性毒性値	二酸化ケイ素:LD50 経ラット:3160 mg/kg ビニルジメチルポリシロキサン:LD50 経ラット: > 16mL/kg
-------	--

ポリ(ジメチルシロキサンーメチルハイドロシロキサン)コポリマー：  
LD50 経口ラット：> 2000 mg/kg; LD50 経皮ウサギ：> 2000 mg/kg

皮膚腐食性・刺激性	皮膚刺激
眼に対する重篤な損傷・刺激性	強い眼刺激
呼吸器感作性または皮膚感作性	吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	発がんのおそれ 二酸化ケイ素:IARC グループ 1
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回暴露)	気道刺激性
特性標的臓器毒性(反復暴露)	長期にわたる又は反復暴露による臓器の障害 (免疫系、呼吸器、腎臓)

## 12. 環境影響情報

環境影響に関する情報はなし。

分解性：	データなし
蓄積性：	データなし
魚毒性：	データなし

## 13. 廃棄上の注意

廃棄の方法 診療使用前は、通常の産業廃棄物と同様に取り扱う。  
その他関係法令の定めるところに従う。

## 14. 輸送上の注意

国内規制  
陸上規制情報 消防法の規定に従う。  
海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。  
航空規制情報 航空法の規定に従う。

国際規則  
海上規制情報 IMDG(国際海上危険物規則)の規定に従う。  
航空規制情報 IATA(国際航空輸送協会)の規定に従う。

特別の安全対策 危険物は当該危険物が転落し、又は危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。  
危険物又は危険物を収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。  
危険物の運搬中危険物が著しく漏れる等災害が発生するおそれがある場合には、災害を防止するための応急措置を講ずると共に、もよりの消防機関その他の関係機関に通報すること。

## 15. 適用法令

法規制情報は作成年月日時点に基づいて記載されております。事業場において記載するに当たっては、最新情報を確認してください。

労働安全衛生法	施行令18条の2 名称等を通知すべき有害物 施行令18条有害物質(表示物質) (政令番号 第312号、二酸化ケイ素として)
消防法	該当なし
毒劇物取締法	該当なし

PRTR 法	該当なし
船舶安全法	適用なし
航空法	適用なし

## 16. その他の情報

本記載内容は、現時点で弊社が入手した資料・情報・データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。

注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合には、十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

以上は情報提供であり、個々の用途に対する本品及び本記載内容の適合性を保証するものではありません。

## 改訂履歴

00 2023 年 12 月 25 日 初版

化学物質管理促進法 PRTR・MSDS 対象物質全データ 化学工業日報社  
労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ 化学工業日報社(2007)  
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編  
化学大辞典 共同出版  
安衛法化学物質 化学工業日報社  
産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版  
化学物質安全性データブック オーム社  
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版  
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修  
Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM  
GHS 分類結果データベース nite(独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP  
GHS モデル MSDS 情報 中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP  
JCIA BIGDr (一社) 日本化学工業協会「化学物質リスク評価支援ポータルサイト」  
HP  
職場のあんぜんサイト>安衛法名称公表化学物質等 厚生労働省 HP  
NITE 化学物質総合情報提供システム nite(独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP  
GHS 分類結果データベース nite(独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP  
GHS 混合物分類判定システム 経済産業省